

【第1編 経済3-21】世界を襲った1907年恐慌の本質

日本経済史のあらまし 「金の奪い合い」が不況のトリガーに？！

(1)1907年恐慌（戦後恐慌）

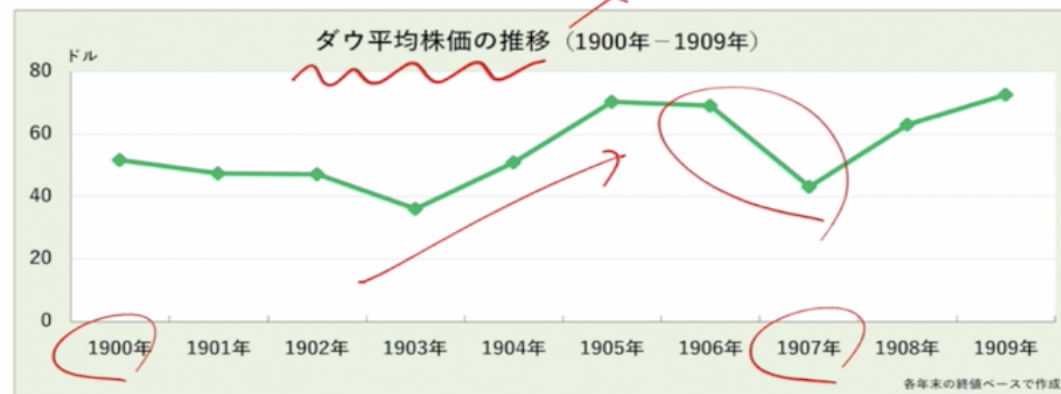
## アメリカから世界中に広がった金融不安

日露戦争を終えた日本を始め、世界中を**大不況**が襲うことに

**1907年恐慌**（戦後恐慌）

1929.10

**1907年10月**（明治40年） **アメリカ**から金融不安が伝播した



・1906年サンフランシスコ地震

## 「金の奪い合い」が世界経済を混乱させた...

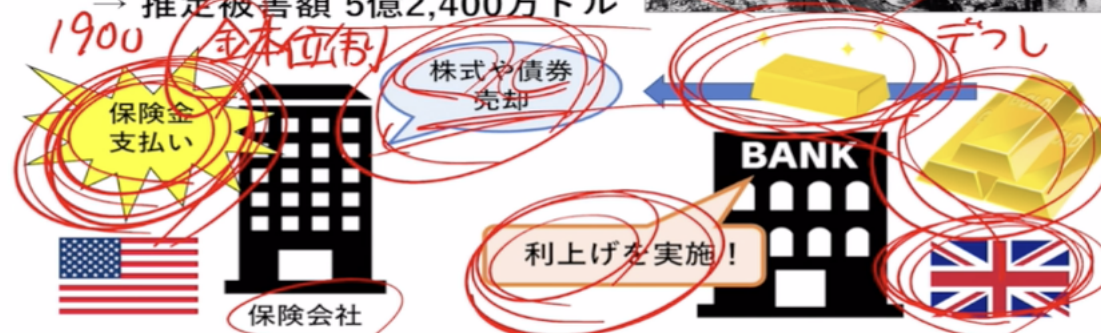
1907年恐慌のきっかけは？

**1906年4月18日の大地震** **ガス管**

→ **サンフランシスコ地震**

→ 約3,000人が死亡

→ 推定被害額 5億2,400万ドル



(3)金本位制に翻弄されて不況に巻き込まれた日本

①対応策

- ・海外から金を調達
- ・金の利用を減らす

②緊縮財政の実施

金本位制に翻弄されて不況に巻き込まれた日本

日露戦争の後、日本は朝鮮半島や中国大陸に<sup>金</sup>対外投資を実施

海外から金を調達する

金の利用を減らす

日露戦争で発行した外貨建て国債の償還・利払いも負担に！

→ 緊縮財政を実施し、国内の消費を抑制する方針へ

1908年10月（明治41年）「勤侯の詔書」の渙発

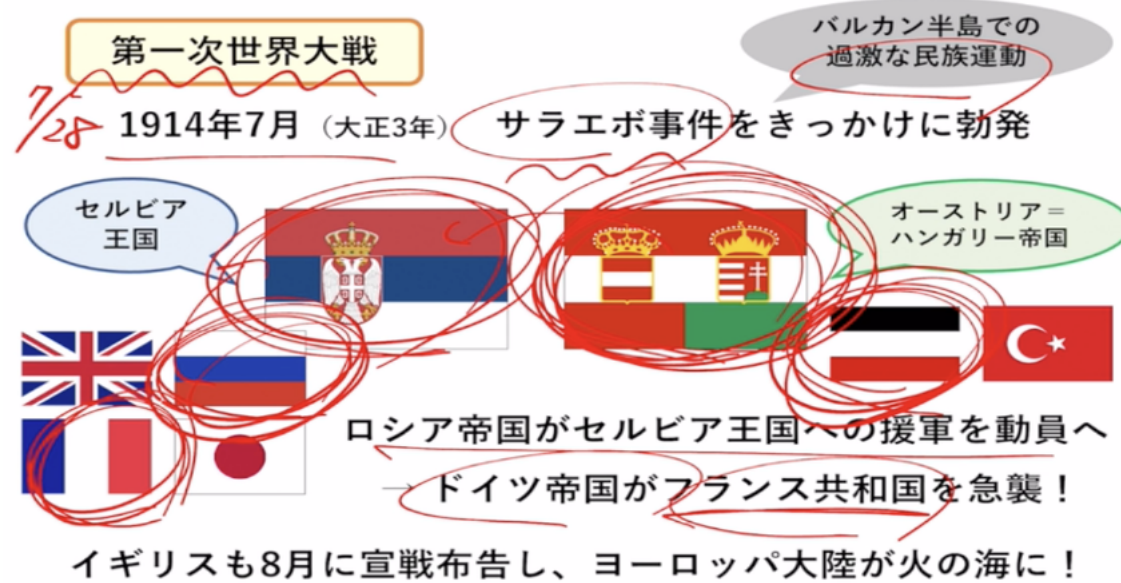
アメリカ政府は公的資金の注入などを実施

日本は1910年に外債発行を通して金を確保



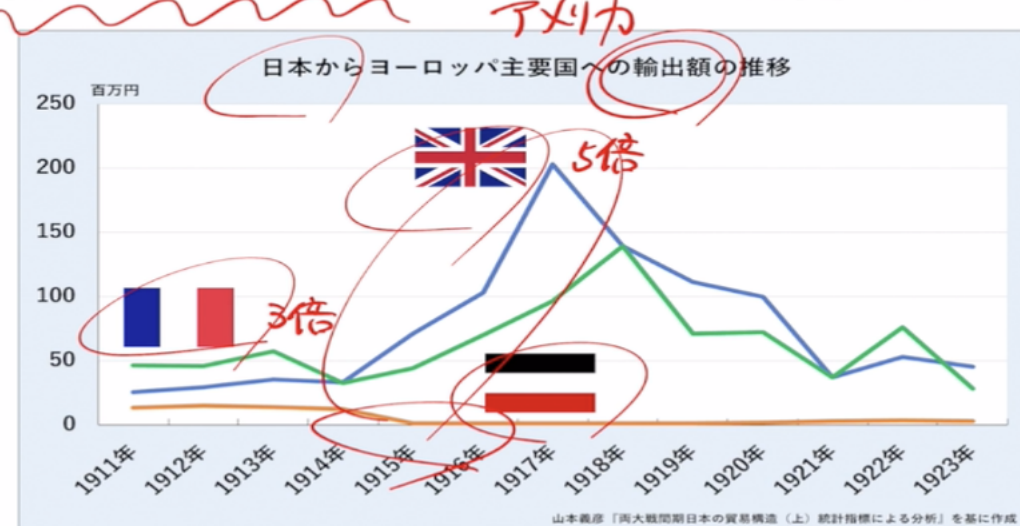
- (4)1914 年第一次世界大戦  
 →サラエボ事件  
 →ロシア帝国がセルビア王国への援軍を動員へ  
 →ドイツ帝国がフランス共和国を急襲！

## 経済が困窮すると過激な思想が台頭する



- (5)戦争のフィールドにならなかった国は強い  
 (6)1914 年以降、世界中が金本位制を停止  
 →日本は 1916 年に停止

## 戦争のフィールドにならなかった国は強い！



1914年以降、世界中が金本位制を停止（日本は1916年に停止）